

街と歩む、街を支える。

 丸の内熱供給株式会社

2021年 10月 1日  
丸の内熱供給株式会社

## 東京都へ CO2 削減クレジット 138,203t を寄付！

＜「ゼロエミッション東京」を目指す取組への協力＞

丸の内熱供給株式会社(東京都千代田区、代表取締役 田島 穰)は、CO2 を排出しない「ゼロエミッション東京」を目指す取組を実施している東京都に対し、当社の CO2 削減クレジット合計 138,203t を寄付いたしました。

当社は東京都キャップ&トレード制度の対象事業者であり、地域冷暖房の熱源機器のネットワーク化や高効率運転により、CO2 排出量削減に取り組んでおりますが、第1計画期間(2010年～2014年度)において削減義務量を超過して削減したクレジット 148,203t のうち、138,203t を寄付致しました。これは本制度への寄付量全体の約 3.3%に相当し、参加した 153 の事業者において 5 番目に多い量となりました。

当社は MARUNETU VISION 2030 にて「脱炭素社会へリードする新しい丸熱へ」を掲げており、今後も省エネルギーの推進・環境価値向上のため、チャレンジを続けます。

(外部リンク)東京都環境局

### ■ゼロエミッション東京戦略の策定～気候危機に立ち向かう行動宣言～

東京都は、2019年5月、Urban20 東京メイヤーズ・サミットで、世界の大都市の責務として、平均気温の上昇を 1.5°C に抑えることを追求し、2050年に CO<sub>2</sub> 排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言しました。

[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/policy\\_others/zeroemission\\_tokyo/strategy.html](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/policy_others/zeroemission_tokyo/strategy.html)

### ■総量削減義務と排出量取引制度(キャップ&トレード制度)

大規模事業所に対し CO2 排出量の総量削減を義務付けるとともに、排出量取引により他の事業所の削減量等を取得することで義務履行が可能な制度。

[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large\\_scale/index.html](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/index.html)

## MARUNETU VISION 2030



The infographic is set against a blue background. On the left, the text 'Beyond DHC!' is written in large white letters, with '脱炭素社会へリードする新しい丸熱へ' in smaller white text below it. The main content is organized into several boxes:

- GROUP MISSION:** 私たちは、まちづくりを通じて社会に貢献します
- MARUNETU VISION:** 『Beyond DHC!』 脱炭素社会へリードする 新しい丸熱へ
- VALUE:**
  - 更なる強靱化:** 途絶えることのないエネルギー供給 (Icon: 11 再生エネルギーの普及)
  - 省エネルギー:** 地域冷暖房のネットワークだからこそ実現できる最高水準の省エネルギー性 (Icon: 9 再生エネルギーの普及, Icon: 12 つくば未来のまちづくり)
  - 環境価値:** 低・脱炭素化先進地域 大丸有の実現 (Icon: 7 エネルギー効率の向上, Icon: 13 気候変動への対応)
- エリアへの貢献:** エネルギーについてワンストップで充実したサービスメニューと技術力 (Icon: 7 エネルギー効率の向上, Icon: 12 つくば未来のまちづくり)
- 共創:** 三菱地所グループ内外のパートナーと共創し、低・脱炭素化社会を実現 (Icon: 17 パートナーシップの推進)